

## プラスチック成形加工学会 第30回秋季大会

### 「京都議定書から25年、プラスチック成形加工のこれから」

情報 URL <https://www.jspp.or.jp/>

第30回秋季大会は、京都府京都市で開催いたします。本秋季大会では、プラスチック成形加工発展の鍵となる研究発表・議論、また交流の場を提供いたします。行事内容としては、特別講演、5分野の特別セッション、一般講演、ポスターセッション、懇親会などを予定しています。

皆様の積極的な研究成果のご発表及びご参加をお待ちしております。最新情報は、学会ウェブページでお知らせしますので、ご確認お願いいたします。

1. 日時：2022年11月28日(月)、29日(火)
2. 会場：同志社大学新町キャンパス尋真館  
※変更になりました。  
〒602-0047 京都府京都市上京区新町通今出川上ル近衛殿表町159-1  
会場への交通アクセス詳細は、下記ホームページをご参照下さい。  
<https://www.doshisha.ac.jp/>
3. 主催：(一社)プラスチック成形加工学会
4. 協賛(予定)：化学工学会、型技術協会、強化プラスチック協会、高分子学会、自動車技術会、精密工学会、繊維学会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本接着学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本バイオプラスチック協会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、SPE日本支部、産業技術連携推進会議 物資・材料・デザイン分科会

#### 5. 内容(予定)：

##### 5.1 特別講演(調整中)

##### 5.2 特別セッション

###### ・特別セッションⅠ

「脱炭素、省エネ、低環境負荷につながる成形加工・材料・評価技術」  
〈仙波健(京都市産業技術研究所)、笹田昌弘(同志社大)〉

京都議定書から25年、COP26では、産業革命前からの気温上昇幅を1.5℃に抑えることを目標とすることが明記されました。この目標の達成には

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることが必要とされています。今、プラスチック産業ではこの目標を達成するための取組を加速させていますが、成形加工(加工機械、加工工法)、材料(素材、添加剤、複合化)、評価技術(LCA、生分解性、シミュレーション)など、各分野の連携がなければ非常に困難であることは間違いありません。本セッションでは、成形加工、材料、そして評価技術の広範な分野から、脱炭素、省エネ、低環境負荷につながる発表を募集します。加工、材料、評価の第一線で活躍する研究者による交流が、COP26-世界目標「気温上昇を1.5度に抑える」達成に貢献できることを期待します。多数のご講演のお申し込みをお待ちしております。

###### ・特別セッションⅡ

「自動車関連分野におけるプラスチック・ゴム材料」  
〈浦川理(阪大)、秋山混太(ジェイテクト)〉

電動化や知能化、情報化など、自動車業界は100年に一度の変革期を迎えたと言われています。とりわけ、カーボンニュートラルへの対応は喫緊の課題とされており、LCAの観点からプラスチック活用への期待が高まっています。また、車を支えるタイヤにも、より高い環境性能と安全性能が求められています。本セッションでは、自動車関連分野のプラスチック・ゴム材料およびそれらの成形加工やリサイクル技術等について広く議論する場を提供し、これらに関連する講演を広く募集します。多数のご講演のお申し込みをお待ちしております。

###### ・特別セッションⅢ

「デジタル技術を用いたプラスチック成形加工・材料・評価技術」

〈板倉大輔(東洋紡)、小武内清貴(同志社大)〉

近年、形状データから金型なしで造形可能なアディティブ・マニファクチャリング(AM)を始め、熟練技能者のノウハウや成形装置の状態等をセンシングおよびデータ化し、見える化するIoT(Internet of Things)技術、それらを人口知能(AI)の活用により形式知する試みが進められています。材料開発においても、膨大な実験結果などのデータを用いたマテリアルインフォマティクス(MI)の活用が進んでいます。また、金型の設計や製造においてCAE技術の活用は今や必要不可欠となっています。本セッションではプラスチック成形加工におけるこれらデジタル技術の活用、いわゆるデジタル

トランスフォーメーションに関わる、次世代のものづくりについて議論する場を提供し、これらに関連する講演を広く募集します。多数のご講演のお申し込みをお待ちしております。

#### ・特別セッションⅣ

「地方公設試の持つ技術シーズ」

〈東青史（大阪産業技術研究所）、平瀬龍二（兵庫県立工業技術センタ）、琴原優輝（奈良県産業振興総合センタ）〉

地方自治体によって各都道府県に設置されている公設試験研究機関（公設試）は、地域の産業振興に関する技術的な支援（企業への技術支援、依頼試験、受託分析など）を行うとともに、産業界のニーズに対応するための技術開発も行っています。プラスチックやゴムの成形加工に関する研究開発を実施している機関は多くあり、種々の技術シーズを有しています。本セッションでは、公設試が有するプラスチックおよびゴムの成形加工などに関する技術シーズを一堂に会し、所属を超えて議論できる場を提供致します。これらの技術に関連する講演を広く募集致します。多数のご講演のお申し込みをお待ちしております。

#### ・特別セッションⅤ

「特色ある関西のものづくり企業」

〈奥村俊彦（大阪産業技術研究所）、山口莉嘉（大阪銘板）、平田園子（(一社)西日本プラスチック製品工業協会）〉

関西地区にはプラスチック成形加工関連の技術・製品開発などを精力的に行う、ユニークで高い技術力を誇る企業が多数集まっています。本セッションはこれらを“特色ある関西のものづくり企業”というキーワードのもとに集約し、企業独自あるいは地域の大学や公設試等と共同で開発したものづくり技術・オンリーワンの製品等をポスター発表して下さる、「我こそは！」という企業を広く募集します。この発表を次の飛躍のチャンスとして、シンポジウム参加者との技術交流・共同開発・製品づくりのきっかけを想像する場とすることを目指します。多数の参加申し込みをお待ちしております。

#### 5.3 一般セッション

1. 射出成形
2. 押出成形・混練

3. ブロー成形・熱成形
4. 紡糸・フィルム成形
5. 熱硬化成形・反応成形
6. 超臨界流体・発泡技術
7. マイクロ・ナノ成形
8. プレンド・アロイ
9. 複合材料
10. リサイクル・環境調和材料
11. ナノセルロース・ナノカーボン
12. 工業レオロジー
13. 分析技術
14. 成形機・物性計測・周辺機器
15. 二次加工
16. 金型・周辺機器
17. CAE
18. アディティブ・マニュファクチャリング (AM)
19. その他

#### 5.4 ポスターセッション

〈竹下宏樹（滋賀県立大）、竹中真（神戸製鋼所）、九鬼伸治（三菱電機）、八木悠樹（松井製作所）〉

発表者と大会参加者の活発なコミュニケーションの場として、ポスターセッションを設けます。ポスターセッションにおける優れた発表に対しては、優秀ポスター賞として表彰を行う予定です。

#### 6. 講演申込等のスケジュール（予定）：

- ①講演申込締切：2022年7月22日(金)
- ②予稿原稿締切：2022年9月23日(金)
- ③参加申込締切：2022年11月29日(火)

#### 7. 秋季大会に関する問い合わせ先：

プラスチック成形加工学会第30回秋季大会（成形加工シンポジウム'22）実行委員会

委員長：田中達也（同志社大学）

副委員長：奥村俊彦（大阪産業技術研究所）

竹下宏樹（滋賀県立大学）

井上 玲（東洋機械金属）

笹田昌弘（同志社大学）

中村守正（同志社大学）

小武内清貴（同志社大学）

E-mail：symposia2022@jpspp.or.jp